

三澤樹知選手（新体操・山形市役所所属）

私が新体操を始めたのは小学校1年生の頃でした。幼い頃から活弁で、よく外遊びをしたり、テレビから流れてくる音楽に合わせて踊ったりしていました。習い始めの頃は、週1回の遊びでしかありませんでしたが、何か出来ないことがあるとだんだん悔しく思うようになり、自分で練習をするようになりました。この頃から私は、「もっと上手になりたい！大きな試合に出場したい！オリンピック選手になりたい！」と思うようになりました。



高校2年生で日本代表チームに選抜されてからは、幼い頃の夢だったオリンピックがすぐ手の届く所にあり、毎日が緊張の連続で怖くなることもありましたが、それよりも「オリンピックに出場したい！」という強い気持ちを持って練習していました。そして北京オリンピックの代表に決まった時、最初は信じられませんでした。もっと言えば、オリンピック会場に行っても実感がありませんでした。それくらい私の中でオリンピックが大きな存在だったのだな、と感じています。

これからドリームキッズに応募しようとしているみなさん、私は「夢を追い続けること」と「その夢に近づけるように努力すること」がとても大切だと思います。これから様々なことにチャレンジして、様々なことに興味を持ってください。そして、その中から夢を見つけて実現させてください。

未来のオリンピック選手目指して頑張り！！応援しています！！

瀧澤宏臣選手（スキークロス・日建総業スキークラブ所属）



僕の実家は米沢スキー場でロッジを経営していたので、学校から帰ってくると夢中になってスキーをしていた記憶があります。スキーは非常に多様性あるスポーツでありながら、全てのスキー種目に通じる基本姿勢と動作があります。そういった部分を子どもの頃にスキーという遊びを通じ身につけられていたのかもしれない。

バンクーバーオリンピックに出場して感じたことは、「オリンピックでの借りはオリンピックでしか返せない」まさにこの一言に尽きたオリンピックでした。反面、アルペン、モーグル種目において果たせなかったオリンピック出場というハードルを越えられたことは、自分の選手生活の中でとても大きな意味合いを持っていると感じています。

みなさんの頃には、一つの種目に集中するのは決して悪いことではないと思いますが、自分が頑張りたいと思っているスポーツで花開く可能性を高めるためにも、様々なスポーツと動作を通じて経験値を高め、運動神経に磨きをかけていくことが非常に大事だと思います。感覚として記憶させることで、年齢やレベルが上がった時に様々なところで効果が出てくるはずですよ。そして、「世界一になる！」という思いを持ってください。何で世界一を目指すかは、みなさんそれぞれの好きな事で構いません。チャレンジを通じて、みなさんが持っている可能性をどんどん広げていってほしいと思います。

頑張ってください！！

YAMAGATA
ドリームキッズ